

1月度月例句会 会報・HP掲載句

一月詠草

兼題：数の子、懐手、当季雑詠

薄味の数の子うまし古希はるか	中山 知祐
数の子や猪口は九谷の昼の酒	宮川 至剛
数の子の黄金引き立つ輪島塗	石原 克己
数の子のぷちぷち友に一人酒	森 邦彦
数の子を摘みて平成名残惜し	小野 信
落暉浴び明日の漁よむ懐手	清家 静楓
懐手いつの間にやら後ろ手に	六川 里風
懐手身分知らずと叱られる	川田 勝美
枯蓮の実みな首垂れランプめき	城戸崎雅崇
藍色の夜の帳や霜の声	佐藤 政百
蠟梅の後ろ姿に香りけり	大仲 正敏
初春やひとり酒飲みうとうと	生江沢五風
空白は埋め切れぬまま日記果つ	安井 正浩
大晦日事件簿書くや妻の愚痴	眞田 宗興
	以上